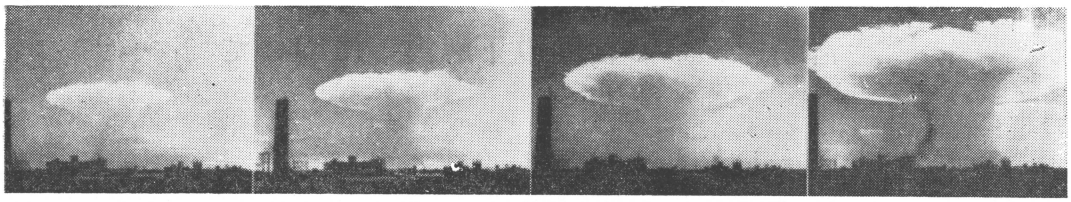

シドニーの西部にあらわれた積乱雲（20分間に急速に発達）

日本は海洋にかこまれ，他の大陸上の雲と性質の全く違う雲があらわれている筈である．我々の頭の上を毎日通過していく雲について，我々が何もしらないのでは，研究が机上の空論にしかならない．

一刻も早く，雲を測定する航空機が整備されることを望みつつ筆をおく．

日中学術交流の促進について

国際学術交流委員会

昨年の春季総会において「日中学術交流の促進」について大要，次のように決議された．

『日本気象学会は，昭和37年度もしくは出来うる限り早い機会に学問的な交流を開く第一歩として，著名な気象学者2名程度を日本に招待することとし，そのために必要な準備を進めたい．』

この決議に沿って強力に準備体制を固めるために理事会の決定により，特に畠山理事が当委員会に加わることになった．そして，先づこの決議を中国気象学会に知らせると共にこの計画を実現するために協力を要請した（6月19日）．

一方，日中友好協会にも協力を要請した結果，学術小委員会でこの問題が検討され，日中間の友好的学術交流のために極めて意義あることとして中国気象学会代表の日本訪問について特に日中友好協会からも中国気象学会宛に要請が出された（6月20日）．

丁度この項，半年振りに中国気象学会から次のような書翰が届いた．

「私共はあなた方の1960年10月，1961年3月および4月の書翰を興味深く受領しました．わが国気象学会全会員は我々代表を通じて，あなた方およびあなた方を通して日本の多くの気象従事者に心からのご挨拶を送ります．そしてあなた方が中国人民の中国領土主権を護る完正にして正義の斗争を支持してくれることに感謝します．日中両国間の正常なる関係の発展は貴国の一部の反動勢力が一貫してアメリカ帝国主義に追随して，わが国を敵視している政策を採っているために人為的な障害をなしています．

日本人民が日中間の正常な関係を早く回復することを要求している切実な願望は，すでに合流して一つの阻止できない流れとなっており，この種の力のさらに一歩の発展はすべての人為的障害を押し流すものであります．

日中気象技術交流問題については，われわれも同様にこの願望があり，近い将来解決出来るものと信じています．日本人気象技術者と日本人民が独立，民主，平和および中立を得る斗争の中でさらに一歩の成功を進めることを祝福します．　中国気象学会　1961．6．2．』*

その後7月～8月の期間には畠山，神山，岸保の各委員から先方の意向打診のために私信を送った．

9月には当委員会より，中国気象学者招待に関して具体的計画を，趙九章氏他8名の著名な気象学者に知らせて意見を求めた．その大要は次の通りである．

1　目　　的，日中気象界の学術交流を促進し，日中両国民の友好を発展させる

2　招 待 者，中国気象界で指導的な人2名程度，あるいは第1線で活躍されている人2名程度，若しくはその両者から2名程度．

3　時　　期，1962年の秋頃

4　滞在日数，約10日，その間気象学会での講演会，視察，懇談会などを行う．

昨年11月20日には中国から"訪日中国文化友好代表団"が約1カ月にわたって日本を訪れた．この中には機械とエレクトロニックスの学者が参加しておったので当委員会ではこれらの学者との懇談会に参加し，日中気象学術交流について，われわれの希望を中国気象学会に伝えてもらうよう依頼すると同時に代表団長に宛て書状を以って中国側の事情についていくつかの質問を差しだした．

不幸にして現在に到るまで中国気象学会からはわれわれの要望に応える意志表示がないが個人宛の私信によりますと，学会として検討されている模様で決定されて後，必ず通知するとのことである．今後は1日も早く具体的な取決めが出来るよう努力するつもりである．

* 原文は中国語